



未来を見据えて ～「共感力」「質問力」～

校長 葉山靖彦

12月24日、第26回刈谷市中学校生徒会サミットが本校で開催され、刈谷市内の6中学校生徒会、刈南中学区の3小学校の児童会、刈南中1・2年学級代表が参加しました。

大きなテーマを「わたしたちが目指したい中学生」とし、「刈谷のまちが目指す中学生」を考える中で、各校の取組や意見交換を行いました。その基本として、本校の取り組んでいる「かりなんトーク」を紹介し、話し合うときの「共感力」「質問力」の大切さを共有しました。これは、それぞれの学校やその人の抱えている状況を受けとめながら、よく理解し、より深く考えていくために必要だと考えました。



7つのグループに分かれ、行われた分科会では、「企画・学校行事」「あいさつ・思いやり」「きまり・マナー」「授業・学習」のテーマが与えられ、話し合いが行われました。「生徒の主体的な活動を進めるには」「交通安全の意識や交通マナーを高めていくためには」「授業で活発な話し合いを行うためには」など、各学校の実情や取組をもとに、途切れることなく、意見が交わされました。「自分からする意識」「自分事として捉えたい」「個々の意識を高める」「がんばろうと思う気持ちを大切にしたい」など、日々の学校生活の中で大切に感じていることや課題が出されました。一つ一つがとても大切な視点で、生徒はそれをよく見ていると実感するとともに、すぐに成果のでないものも多く、私たち教職員も生徒の皆さんと一緒に考えながら、取り組んでいこうと感じられる時間になりました。

令和8年が始まりました。新たな年を、こうした皆さんと一緒に考え、成長していくことのできる年にしたいと願っています。

社会を共創できる人になろう

11月28日に1年生の総合的な学習として、福祉実践教室を行いました。「社会を共創できる人になろう」というテーマのもと、さまざまな障がいのある方や高齢者への理解を深める学習を事前に行い、当日を迎えました。実際に目や耳の不自由な方や車椅子を利用している方から話を聴き、手話や点字、要約筆記、車椅子の体験活動を通して、相手の立場になって「自分たちは障がいのある方や高齢者の方に何ができるのか」を考えました。



保育体験学習から自分を見つめ直す

3年生の家庭科では、毎年、保育体験学習を実施しています。今年度は、刈谷幼稚園、住吉幼稚園、衣浦幼稚園、こぐま保育園、さくら保育園に体験させていただきました。幼児の発達や関わり方について学んだことを実践する機会となり、幼児たちと触れ合い、遊びを通して自己の社会性やコミュニケーション能力を見つめ直すことができました。幼児と視線を合わせて、いつもよりも優しい口調で分かりやすく話をしようとする生徒の姿に成長を感じました。



受験にかつなり～！

12月5日の給食時に、住吉幼稚園と衣浦幼稚園から5歳児の子たちがやってきてくれました。かつなり君の甲冑の衣装を身にまとい、手に小道具を持って、受験生に向けて元気よく演舞を披露してくれました。この日は、朝から3年生の習熟度テストが実施されていました。各自で腕時計を用意し、荷物をイスの横に置き、受験に向けて当日のような緊張感のある中でのテストでしたが、午前中の4教科を終えたところで、ほっと気持ちが和らぐような交流ができました。3年生は、各教室の窓から、可愛らしい幼児たちの演舞を見て、笑顔で拍手を送っていました。



社会に出て必要な力を高めよう

2年生の総合的な学習では、職場体験を中心にキャリア教育を実施しています。職場体験学習で学んだことをまとめて、それを1年生へ伝える活動を行うにあたり、よりよいプレゼンテーションにしようとしてグループ学習を行いました。さらに、社会に出て必要とされる力を高めるために、「TWICE PLAN (トゥワイス・プラン)」を活用した授業を行いました。日本を代表する企業のインターンとして、企業の課題に取り組むワークです。職業理解、コミュニケーション力、チームワーク力、問題発見・解決力、論理的思考力、情報収集・活用力、情報モラル、プレゼンテーション力、進路意識の向上をねらいとして行いました。3学期には、上級学校訪問を予定しています。3年生になって、自分の進路に向き合う前に、さまざまなことを学んで、自らの道を選択できる力を付けていくように取り組んでいます。

